

台風シーズンに入ります ～日頃から、大雨、土砂災害に備え、避難の準備をしておきましょう～

近年、全国では大雨や短時間強雨の回数が増加しており、奥多摩町でも災害の危険性は年々高まっています。大雨や台風接近が予報され、災害が迫っているときに自分がどのように行動すべきか、あらかじめ考えておくことが大切です。

【気象庁による予報】

近年は、台風発生時でなくても突発的に激しい雨が降ることも増えているため、日頃からテレビやインターネットなどにより、気象情報をこまめにチェックする習慣をつけましょう。

気象庁のホームページでは、「あなたの街の防災情報」として、奥多摩町の天気予報や雨雲の状況、発表中の防災情報（注意報・警報など）を確認できるほか、同じページ上にある「キキクル（危険度分布）」では、細かな区域ごとの災害危険度が色分けして表示されるため、災害時、お住まいの地域に危険が迫っていることを知ることができます。

【町からの避難情報】

気象庁の予測情報や実際の気象状況などから、町内の地域に災害の危険が迫っていると判断したとき、町は、該当地域の住民に対し、防災行政無線を通じて、**避難情報を発令します**。町が発令する避難情報は、災害危険度（気象庁が発表する警戒レベル）に応じて、つぎの3段階に分かれています。

カ
ツ
ト

◎高齢者等避難

気象庁が発表する「大雨警報（土砂災害）」（警戒レベル3）の発表を目安として発令します。

「高齢者等避難」が発令された場合、対象地区にお住まいの、避難に時間を要する高齢者等*は、危険な状況になる前に地域の避難所など安全な場所へ避難してください。また、高齢者等以外の人、必要に応じて、避難の準備をしたり自主的に避難するタイミングとなります。

*「高齢者等」には、高齢者のほか、障害のある方、妊産婦、子どもなど、避難に時間を要する方や避難に支援が必要な方およびその支援者（家族、付き添いの方）などが含まれます。

◎避難指示

気象庁が発表する「土砂災害警戒情報」（警戒レベル4）の発表を目安として発令します。

「避難指示」が発令された場合、対象地区にお住まいの方は、速やかに危険な場所から安全な人宅や地域の避難所などへ避難してください。

◎緊急安全確保

気象庁が発表する「大雨特別警報」（警戒レベル5）の発表を目安として発令します。この段階では、すでに安全な避難ができず、命の危険が迫っている状況です。

「緊急安全確保」が発令された場合、自宅の2階に上がるなど、今いる場所よりも少しでも安全な場所に移動してください。

*この「緊急安全確保」は、必ず発令される情報ではありません。

《次ページへ続く》